

# 新山協ニュース

▲ 発行者 平田大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男 方 TEL 0258-32-0428

## 「日韓親善交流の会」発足

山田 智子

1981年5月に、韓国の晶元山岳会との姉妹山岳会締結が成されて、来年は10周年を迎える。昨年11月には、6回目の交流登山で、済州島の韓拳山(1950M)へ16名で訪れた。荒天のために警備隊のストップを受け、1750Mでリターンしたが、韓国の11名と、吹雪と薄氷の初冬の山を楽しんで来た。回を重ねるたびに、相互に新しい会員の参加があり、顔ぶれも多くなった。残念というかどうかどうしようもないことは、あのハングル語をなかなか覚えられないことである。少しずつ片言の言葉は出てくるが、会話というにはほど遠い。あちらの現会長、金昌燮氏が、日本と仕事のつながりがある関係で、日本語を話せるので相互の頼みの綱になっている。

思うような会話ができないているが、訪韓のたびに感じることは、大歓迎をしてくれる彼等の変らない気持である。いつもさわやかな印象が強く残り、日本へ来た時には、何かをしてやらなければと思う。私ばかりでなく、参加した皆さんがそう感じながら帰って来ているようである。これからも、長く続けることをモットーに、交流を深めて行きたいものである。そんな願いと県山協の事業として交流の維持や存続を考え、昨年の第6回の反省会の席で、「親善交流の会」を提案させていただいた。皆さんから賛成していただき、先日の理事会にも報告して、ご協力をお願い申し上げた次第である。概要は、年会費5千円とし、積立てて日韓親善交流に係わる諸経費に当てるといふものである。今までに参加したことのある人、これから参加したいと思っている人、参加できなくとも協力して下さる人、どなたも歓迎ですので、よろしくお願い申し上げます。

1月31日現在、五十嵐篤雄、望月力、佐藤貞一郎、矢沢和夫、横野久和、田中文一、田中善子、米谷勝、藤井信、田中純夫、島津甲子郎、山田智

子の13名が会員となりました。あり、何とか実現させたいもご協力いただける人はお手数でも、この交流の会の世話役を、

第四銀行本店 普通預金  
口座番号 1531590  
口座名 新潟県山岳協会  
日韓親善交流の会  
へ、振込をお願いできれば幸甚でございます。

来年の10周年記念計画として、日韓合同で「白頭山」へという案が出ております。5年前たち消えになった山でも

## 七賢を偲ぶ会追悼文 ⑦

吉野さんの 思い出

高橋 秀 樹

吉野さんが亡くなって1年が過ぎた。吉野さんと同行した幾多の山行の中から明星山の事を思い出し、故人を偲んでみたいと思う。

昭和52年7月、この年私と吉野さんとは、たまたま会社の夏休みが一緒となり、2人で明星山へ行こうと話がまとまった。今回は、別に初登攀などという大げさなものでは

ないが、とにかく誰も登っていない所を短くても良いから登ろうという事になった。南壁の墓石稜というルートの左側を見つけて登攀開始。ポロポロと岩のこぼれるもろい壁である。1ピッチに何時間もかかった。「吉野さん、落ちるかもよ」「オーケー」こんな会話が何度も繰り返される。とにかく浮き石だらけで何度も石を落とす。私は夢中で登っているから良いが、同じ場所ですと落石に耐えて確保している吉野さんであった。3ピッチ終えるとテラス



があった。小さな外傾テラスである。吉野さんと身体をくっつけるようにして休む。2人とも汗ダクである。松虫草が咲いていた。それを愛でながら吉野さんとどんな話をしたのだろうか、今では思い出せない。ただ吉野さんが下降用にとポルトを打つ姿がはっきりと思い出される。狭いテラスから身をそらして打っていた。数回たたくと休み、両手をブランと下げる。「いやー、硬って岩らねえ」吉野さんは苦笑しながら汗を拭く。

そして又ハンマーを振る。「一ぶくしょよば」私が言う吉野さんはテラスに座り2人でタバコを吸った。そのテラスで何時間も休んだように思う。下山した時は日が暮れていた。クタクタに疲れてテント場に着いたその夜、さすがに酒好きの吉野さんも缶ビール1個で眠ってしまった。

何年後再び明星山に行った時、私達の登ったルートは崩れて無く、無数の岩くずがルンゼを埋めていた。吉野さんと私だけが登ったルートであり、もう誰も登ることのできないルートである。

## 合掌

吉野さんを  
偲んで

山田 智子

私よりもご懇意の方がおられると思いますのに、ご指名をいただいて恐縮に存じます。

吉野さんとは、五頭の赤安岩で何度かお会いしていましたが、国体を通じてここ6年は、他県の方々に夫婦と間違えられたほど密着していたようです。

6年前は、山岳競技が点数制になったばかりでしたので、態勢がまだ整っていません。こともありますが、会場の山へ練習に行く道中の車の中で、あゝしなければ、こうしなければという願望を、本当によく話しました。

最初の頃は人がいなくて、私は今も同じなのですが、私にできることがあればということからお手伝いさせていたいただきましたが、吉野さんは国体にとっぴりつかった感じでした。

競技が好きだったのだと思います。山に関する実力のほどはもう皆さんご存知の通りですが、練習以外で見せる吉

野さんの一面は、タバコ好き、酒好き、イビキかきでした。3ツともすごいものでした。夜は他県のテントへ寒梅持参で訪ねて行くのですが、鉄砲

玉でした。時間を見ては捜しに行ったり、迎えに行ったりしました。寝るのは吉野さん自身もイビキを意識して、いつも車の中でしたが、これも確認が必要で、タバコの吸いがらと、ドアを空けっぱなしでは蚊に刺されますし、たまに草ムラで寝込んでいます。こともあって、監督の監督は

中・高齢者の登山における  
事故防止について

## 新潟県山岳遭難防止対策協議会

このことについて、平成2年1月24日開催の新潟県山岳遭難防止対策協議会総会において、当面する緊急課題として、「中・高齢者の安全登山の在り方について」協議しました。

中・高齢者の  
安全登山の  
在り方について

ついでに、会議の意向を踏まえ、山岳遭難事故の未然防止のために、別紙の職旨及び留意事項について通知しますので、関係機関及び関係団体

かさや便利さを感じさせている反面、運動不足や精神的ストレスの増大等の弊害をも生じさせております。更に、高齢化社会の進展等と相まって、国民の健康やスポーツに対する関心が高まり、スポーツ実施人口は着実に増加してまいりました。

このような中で、広大な自然環境で実施される野外スポーツ活動が見直され、登山を楽しむ人たちがまた増加してきております。

交通網が整備され、車社会の定着した今日において、登山の態様も従来の「冒険型」から山菜採りやきのこ採り等の「レジャー型」登山人口が増え、登山の多様化現象がみられるようになっております。本年における山岳遭難事故の中では、御承知のとおり、平成元年10月8日北アルプスの立山連峰で8人が凍死した大量遭難事故等、安易に軽装で登山する中・高齢者による事故が多発しており、登山ブームの中で、中・高齢者に対する安全登山の指導の重要性が指摘されるようになってまいりました。

警察庁の発表による40歳以

上の中・高年齢者の山岳遭難は、ここ10年間増え続けており、昨年は、遭難者756人のうち、385人と半数以上を占めております。

当県においても、平成元年1月～11月末日までの統計によると、遭難者のうち40歳以上の中・高年齢者が3分の2を占めております。

国でも、このような現状を憂慮して、明年度中に中・高年齢者向けの手引書を発行することとし、重点的に事故防止を図ることとしております。

つきましては、当県においても事故防止対策について、別紙「留意事項」により、安全登山の徹底と事故防止を図ることとしましたので、関係機関、関係団体の一層の御指導と御協力を願います。

中・高年齢者の登山  
における事故防止  
に関する留意事項

山岳遭難事故の主な原因は、第1に、山に対する登山技術と経験が未熟であること。第2に、気象条件を無視して行動すること。第3に、登山者の体力不足があげられる。特に、事故を起こしたパ

ティーの75%は、登山計画書（登山届）を提出していないのが実態である。

1 登山前の一般的な注意

ア、山を選ぶときの注意  
山を選ぶ。

イ、体力、技術にあった山を選び、山と自分についてよく考える。

ウ、山に関するガイドブック、技術書、紀行文、随想、記録等を読んでおく。  
エ、地域の山岳団体と交流を持ち、助言を受ける。

(2) リーダーの決定

ア、リーダーには信頼のあける人を選ぶ。

イ、リーダーは責任をもって行動する。(リーダーはバック旅行の搭乗員ではない。豊富な経験と強力な指導力、判断力が要求され、責任が大きい。)

(3) 健康管理

ア、普段の健康状態をよく知る。

イ、登山には体力が必要であり、能力に応じた山を

選ぶ。  
ウ、普段からのトレーニングを怠らない。  
エ、山行に際しては、必ず健康診断を受ける。

(4) 日程を立てる

ア、ガイドブック、紀行文、記録等により目的の山のイメージをつかむ。

イ、地図の読み方を研究し、地図で地形を頭の中に入れる。

ウ、交通事情、登山道、山小屋などの問い合わせや診療所の所在地や電話の有無などの確認をする。  
エ、時間を制約せずゆったりとした行程で山行を楽しみ、1日の行動は8時間以内とする。夜行や冬はより短時間の行程とする。

(5) 気象条件の把握

ア、ラジオの気象通報によって天気図を作成する。

イ、新聞、テレビの天気図を見て計画を立てる。  
ウ、目指す山の最寄りの気象台、測候所の天気予報・週間天気予報、注意報、警報などの気象情報の内容を確かめる。

エ、山の天候の急変による山の怖さは今も昔も変わらない。山小屋や山麓の人たちの気象情報を尊重しよう。

オ、メンバーの能力を十分考慮した計画とし、強行スケジュールは避ける。  
カ、荒天や怪我人の対策を立てる時にあらかじめ考慮し、避難コースを考えしておく。  
キ、岩登りや冬山登山は、優れたリーダーの下で、パーティー全体が十分な訓練を経ていることが前

提でなければ実施してはならない。

3 登山計画書（登山届）の作成と提出

(1) 登山計画書（登山届）が完成したら、必ずもう一度確認する。

(2) 登山計画書（登山届）の提出先。  
ア、登山地の最寄りの警察署又は県警察本部外勤課。  
イ、職場、山岳協会、山小屋、最寄りの駅など。  
ウ、家族。

エ、山の怖さは今も昔も変わらない。山小屋や山麓の人たちの気象情報を尊重しよう。

2 装備等の準備

(1) 風雪、降雪による体温の低下を考え、汗を吸う木綿の肌着は避ける。また、防寒具、雨具を携行し、履き物は季節、状況に応じて適切なものを選ぶ。

(2) 装備の使用法は、事前に調べ熟達しておく。

(3) 登山地図、磁石は必ず持ち、活用できる技術を平素から身に付けておく。

(4) 予備食、非常食は必ず携行する。

(5) 万一のことを考えて、修理用具、スペアを必ず携行

する。

5 下山後の処置

(1) 登山地の最寄りの警察署その他に必ず連絡すること。

(2) 登山についての反省と評価をまとめて、次の機会の参考とする。

(3) 登山計画書（登山届）の提出は登山者の義務である。  
4 保険への加入  
万一事故が発生したときのことを考えて、保険に加入しておく。

スポーツ安全保険

掛金 9900円  
死亡・後遺傷害 400万円

山岳登攀  
掛金 9900円  
死亡・後遺傷害 400万円

山岳登攀  
掛金 9900円  
死亡・後遺傷害 400万円

山岳登攀  
掛金 9900円  
死亡・後遺傷害 400万円

入院 (1日) 1800円  
 通院 (1日) 800円  
 対人賠償 1億円  
 対物賠償 500万円  
 共済見舞金 50万円  
 山行往復時の交通事故も対象です。

期間 4月1日 (加入時) ~ 平成3年3月31日まで  
 問い合わせ スポーツ安全協会  
 ☎025122217344  
 山岳協会 (杉本)  
 ☎025813619533

### 海外登山の御案内

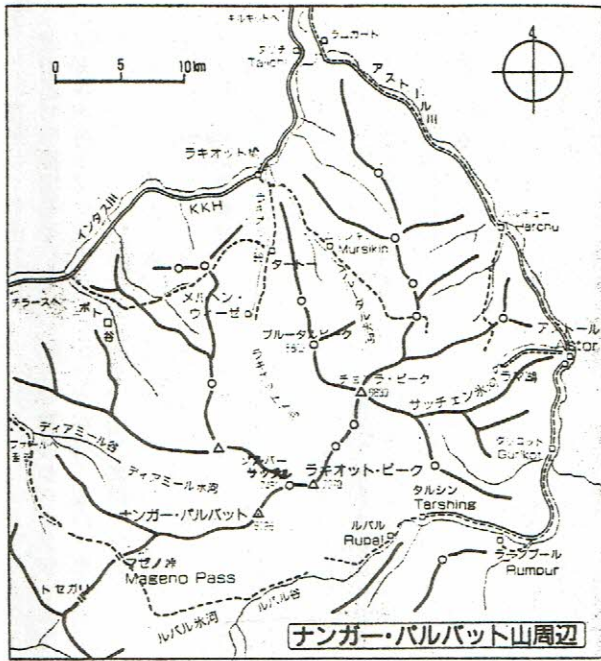
#### 海外登山委員会

このたびは海外登山委員会で、パキスタン北部、カラコルムでのトレッキング及び登山を計画いたしましたので御案内いたします。参加希望者は4月末日までにお申し込み下さい。

計画概要  
 目標地域 ナンガ・バルバット周辺山域  
 期間 平成2年8月下旬約2週間  
 費用 成田から成田までの総費用 約30万円

#### 日程 (予定)

- ① イスラマバード
- ② ギルギット
- ③ タルシン
- ナンガ・バルバットのルパール側トレッキング
- シャイギリ・ピーク (5971M) 登頂
- マゼノ峠 (5360M) を越えてナンガ・バルバットをルパール側からディアミール側へ
- ⑪ チラス又はタルシン
- ⑫ イスラマバード



ナンガ・バルバット山周辺

コース概要については隊員が固まってからさらに詳細につめる予定です。申込先及び照会先 海外登山委員会 田中純夫まで  
 新潟市川岸町2-13-17  
 ☎025126712743

健康な方ほどなたでも参加できます。特別な経験、技術は不要です。申込みの場合、住所、氏名、年齢、所属山岳会を明記して下さい。

### 理事会報告

1. 山岳功労者の表彰  
 北海道国体成年女子チーム 高橋秀樹監督  
 後藤邦子選手  
 助川園子選手  
 設案なつ子選手  
 自然保護功労者 杉原八百樹氏  
 役員功労者 鈴木敏雄氏
2. 指導員の認定について  
 指導員規則第6条2項による申請 鈴木敏雄氏
3. 国体県予選会  
 期日 平成2年4月29日  
 会場 長岡市東山連峰  
 種目 踏査競技のみ
4. 海外への派遣について  
 ① 中国大興安嶺予定通り準備を進める  
 ② 韓国合同隊 春に韓国より打ち合せに来る  
 ③ 海外委員会でソ連派遣検討する
5. 自然保護委員会  
 春 妙高高原町で予定  
 秋 津南町で予定  
 各委員会会費メンバーに徹底
6. 北信越5県会議報告  
 詳細ニュース61号に掲載
7. 今後の県スポーツ振興基金対応について  
 平成2年、3年、4年 寄付予定金額各10万円
8. 冬山登山技術研修会案内  
 平成2年2月17日~18日 長岡市栖吉 風谷山
9. ニュースの送付について  
 高体連加盟各校へ配布する  
 新協会旗の頒布について  
 サイズ43×63cm 枚数50枚  
 価格4000円  
 希望者は、氏名、枚数を協会事務局まで申し出て下さい
10. 評議員会日程  
 期日 平成2年4月15日 (日)に決定
11. 分担金未納団体  
 9団体あり
12. 群馬県山岳連盟との交換会について  
 本年新潟県が当番で実施
13. 中高山登山者研修会  
 上、中、下越と当面3年継続で実施したい
14. 無縁登録について  
 山田智子理事を中心に県内各団体の調査を実施する
15. その他